



# 学習会 ハッ場ダム予定地の自然破壊

～イヌワシ・クマタカの生息状況を中心に～



ハッ場ダムの予定地では、いたるところで地形が改変されるほどのすさまじい工事が進められ、自然環境は危機に瀕しています。

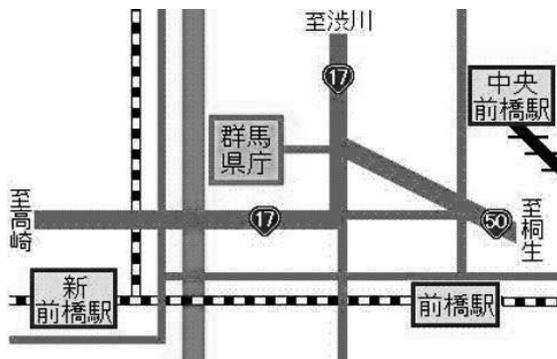
ハッ場ダム事業では、豊かな森林生態系の指標種であるイヌワシ、クマタカを対象に、環境影響調査を行ってきました。イヌワシ・クマタカは全国的に減少しており、ハッ場ダム予定地域は残された数少ない貴重な営巣地です。

ハッ場あしたの会では、ダム予定地域の自然環境の状況を知るため、国土交通省による調査資料を情報公開請求で入手しました。このほど、その結果を専門家に分析・報告していただく学習会を開くことになりました。

日時：2014年6月1日(日) 午後2時～4時

会場：群馬県庁昭和庁舎 21会議室

TEL/027-226-2119 (前橋駅よりバス約6分)



同時開催・写真展  
「ハッ場ダムによって  
失なわれるもの」  
(第一展示室)

講師：花輪伸一氏 (NPO法人 ラムサールネットワーク日本共同代表)

我が国における環境保全活動の第一人者である花輪伸一さんは、財団法人世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)のメンバーとして環境保護運動に取り組んでこられました。ハッ場ダム、沖縄・辺野古の裁判では、環境アセスメントに関する意見書提出や証言を数多く行ってきたことでも知られています。是非ご参加ください。

＝ 資料代 500円 ＝

主催：ハッ場あしたの会

〒371-0844 群馬県前橋市古市町419-23

TEL/027-253-6706 携帯/090-4612-7073